科目名	研究方法論	担当教員	佐々木 伸・澁木琢磨・土岐玲奈
科目属性	基幹科目	単位数	２単位（SC　0.5 単位）

【授業の狙い】

本授業の狙いは、修士論文を執筆するに当たり、量的研究、質的研究の研究方法論を学び、論文の構成要件とプロセス、調査・研究の実践を習得し、研究成果としての論文を完成、公表できる能力を獲得することである。

【授業到達目標】

1. 研究のプロセスおよび論文の構成要素を説明できる
2. 研究の目的と問題提起を明確に設定できる
3. 量的研究、質的研究の方法論を理解している
4. 自身の研究目的に適した調査・分析方法を選択し、実施できる
5. 論理的で一貫性を持ち論文の基本要件に合致した文章表現ができる

【授業計画】

この授業は、事前レポート、スクーリング、科目修得試験（レポート方式）によって構成する。
全 15 回の授業計画は以下のとおりである。

1. 論文とは何か：文章の種類と論文の基本形式
2. 問題提起のやり方：問答と対話
3. 設計図技法を学ぶ：ストレスなくレポート、論文を執筆するために
4. 論文の執筆演習
5. 量的研究でできること
6. アンケート調査の解析①（連続量としての扱い方）
7. アンケート調査の解析②（カテゴリーとしての扱い方）
8. 質的研究：内容分析（カテゴリー化）
9. 質的研究について学ぶ－質的社会調査
10. エスノグラフィーについて学ぶ
11. 教育の事例検討について学ぶ
12. 現場に根ざした研究の理論について学ぶ
13. 調査実施とデータの収集・分析について学ぶ
14. 研究方法と問題設定の関係について学ぶ
15. 研究成果のアウトプット：論文を書く

【評価方法】「スクーリング評価」（30％）、「レポート評価」（30％）、「科目修得試験」（40％）の割合で総合して評価する。

【テキスト】

河野哲也，2018,『レポート・論文の書き方入門第 4 版』慶応義塾大学出版会,ISBN:978-4766425277.

酒井 聡樹，2015,『これから論文を書く若者のために 究極の大改訂版』 共立出版,ISBN:978-4320005952.

小塩 真司・西口利文，2007,『質問紙調査の手順（心理学基礎演習）』，ナカニシヤ出版,ISBN:978-4779502002.

向後 千春・冨永 敦子，2007,『統計学がわかる（ファーストブック)』，技術評論社,ISBN:978-4774131900.

向後 千春・冨永 敦子，2008,『統計学がわかる 【回帰分析・因子分析編】（ファーストブック）』，技術評論社,ISBN:978-4774137070. 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美，2016，『質的社会調査の方法－他者の合理性の理解社会学』有斐閣 ISBN: 978-4641150379. 土岐玲奈，2019,『高等学校における〈学習ケア〉の学校臨床学的考察』福村出版. ISBN: 978-4571101861.（学修に必要な第 2 章はデータで配布）
【参考図書】 なし